

腰部脊柱管狭窄症について

みのもんたさんが手術を受けてからとても有名になった疾患ですが、整形外科にとっては昔からある病期です。高齢者に好発します。

○ 症状

この病気に特徴的な症状は**間欠性跛行**と言われます。歩いているうちに足先がしびれて動けなくなる。でもしゃがんだり椅子に座ったりして休憩するとまた歩けるようになる。このような現象を**間欠性跛行**といいます。中には会陰部の灼熱感を訴えるような方もおられます。腰痛や下肢痛を訴える方もあります。よく似た症状を示す疾患に閉塞性動脈硬化症がありますので注意が必要です。

○ 診断

特徴的な症状から診断がつく事が多いですが、レントゲンやMRIで確認できます。特にMRIは有効です。

○ 治療

コルセットの装着、鎮痛剤、循環改善剤の内服などで軽快することもあります。なかには硬膜外注入や、神経根ブロックなどを行なう事もあります。このような治療を行なってもなかなか良くならない場合には手術を行なう事もあります。狭窄を起こしている部分の骨や軟部組織を除去する事で、神経の除圧を行なう事が主ですが、人によって手術の方法が変わる事もあります。医師とよくご相談下さい。



典型的な脊柱管狭窄症の方のMRIです。